

I 財 務 諸 表

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	円	(負債の部)	円
流動資産	3,763,798,186	流動負債	3,371,220,609
現金及び預金	3,370,372,216	運営費交付金債務(注1)	738,187,229
現金	3,211,617	基金運用利益金負債(注1)	914,190
預金	3,367,160,599	預り寄附金(注1)	650,041,768
有価証券	19,999,250	預り施設費(注1)	21,316,292
業務未収金		未払金	1,495,778,835
業務未収金	11,261,337	リース債務	106,673,316
貸倒引当金	▲ 398,780	未払消費税等	23,382,800
棚卸資産	1,085,193	前受金	18,791,173
未収収益	8,478,766	預り金	20,362,012
賞与引当金見返(注1)	292,841,319	預り源泉所得税	1,373,046
環境対策引当金見返(注1)	2,931,675	預り住民税	13,364,500
その他流動資産	57,227,210	その他預り金	5,124,466
未収金	97,764,663	預り科学研究費補助金等(注1)	500,000
貸倒引当金	▲ 40,759,114	引当金	295,772,994
立替金	221,661	賞与引当金	292,841,319
固定資産	83,192,770,222	環境対策引当金	2,931,675
有形固定資産	76,637,170,595	固定負債	3,144,983,600
建物	73,824,511,736	資産見返負債(注1)	2,113,905,491
減価償却累計額	▲ 38,650,625,132	資産見返運営費交付金	1,787,368,319
構築物	19,304,721,268	資産見返物品受贈額	26,421,560
減価償却累計額	▲ 15,704,086,795	資産見返寄附金	298,988,318
機械及び装置	727,487,107	建設仮勘定見返運営費交付金等	1,127,294
減価償却累計額	▲ 522,284,996	長期リース債務	282,819,113
船舶	130,146,138	引当金	748,258,996
減価償却累計額	▲ 115,320,721	退職給付引当金	748,258,996
車両運搬具	337,006,999		
減価償却累計額	▲ 268,480,217	(負 債 合 計)	6,516,204,209
工具器具備品	1,654,388,597	(純資産の部)	
減価償却累計額	▲ 995,620,683	資本金	
土地	36,914,200,000	政府出資金	113,514,962,061
建設仮勘定	1,127,294	資本剰余金	▲ 32,734,785,710
無形固定資産	83,835,976	資本剰余金	15,608,516,881
ソフトウェア	81,104,832	その他行政コスト累計額(注2)	▲ 54,896,903,711
電話加入権	1,105,744	減価償却相当累計額	▲ 54,240,192,538
その他無形固定資産	1,625,400	減損損失相当累計額	▲ 4,060,840
投資その他の資産	6,471,763,651	除売却差額相当累計額	▲ 652,650,333
投資有価証券	3,248,403,820	民間出えん金(注1)	6,553,601,120
長期性預金	2,473,565,892	利益剰余金	▲ 339,812,152
預託金	1,534,943	前中期目標期間繰越積立金(注1)	523,672
退職給付引当金見返(注1)	748,258,996	当期末処理損失	▲ 340,335,824
		(うち、当期総損失 ▲340,335,824円)	
		(純 資 産 合 計)	80,440,364,199
資 産 合 計	86,956,568,408	負 債 ・ 純 資 産 合 計	86,956,568,408

注記

1. これらは、独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目です。
2. 出資を財源に取得した資産に係る、その他行政コスト累計額 ▲48,441,272,941円

行政コスト計算書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位:円)

I	損益計算書上の費用		
	業務費	6,347,380,313	
	一般管理費	2,935,568,003	
	財務費用	2,042,182	
	臨時損失(注3)	1,610,441	
	損益計算書上の費用合計		9,286,600,939
II	その他行政コスト		
	減価償却相当額(注4)	2,104,531,894	
	除売却差額相当額(注4)	6,806,935	
	その他行政コスト合計		2,111,338,829
III	行政コスト		11,397,939,768

注記

1. 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

行政コスト	11,397,939,768
自己収入等	▲ 931,619,868
機会費用	324,221,905

独立行政法人の業務運営に関して
国民の負担に帰せられるコスト

10,790,541,805

2. 機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引から生ずる機会費用の計算方法

近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

(2) 政府出資又は地方公共団体出資等から生ずる機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の令和4年3月末利回りを参考に0.210%で計算しております。

(3) 国又は地方公共団体との人事交流による出向職員から生ずる機会費用の計算方法

当該職員が国又は地方公共団体に復帰後退職する際に支払われる退職金のうち、独立行政法人での勤務期間に対応する部分について、給与規則に定める退職給付支給基準等を参考に計算しております。

3. 臨時損失1,610,441円は、令和元事業年度に計上した環境対策引当金見返の戻入であります。

4. これらは、独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目です。

損 益 計 算 書

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
経常費用		経常収益	
業務費	6,347,380,313	運営費交付金収益(注4)	7,182,344,990
給与、賞与及び諸手当	1,521,627,054	事業収益	619,087,006
法定福利費・福利厚生費	292,612,205	事業収入	619,087,006
退職給付費用	85,635,128	基金運用益	26,602,798
その他人件費	263,410,558	受託収入	7,684,895
賞与引当金繰入	154,498,239	政府受託収入	7,604,895
外部委託費	1,320,745,541	その他受託収入	80,000
賃借料	136,518,000	補助金等収益(注4)	370,000
減価償却費	155,409,440	施設費収益(注4)	149,854,503
保守・修繕費	586,331,432	寄附金収益(注4)	65,575,891
水道光熱費	588,953,917	賞与引当金見返に係る収益(注4)	292,841,319
旅費交通費	53,451,511	退職給付引当金見返に係る収益(注4)	212,914,632
消耗品費	132,385,399	資産見返負債戻入(注4)	210,606,647
備品費	10,780,695	資産見返運営費交付金戻入	175,141,252
諸謝金	39,935,214	資産見返寄附金戻入	35,465,395
印刷費	39,819,833	財務収益	
通信費	41,677,000	受取利息	98
貸倒引当金繰入	16,942,563	雑益	175,593,344
子どもゆめ基金助成費	827,230,471		
その他業務経費	79,416,113	(経 常 収 益 合 計)	8,943,476,123
一般管理費	2,935,568,003		
役員報酬	56,919,235		
給与、賞与及び諸手当	1,316,801,745		
法定福利費・福利厚生費	260,596,474		
退職給付費用	127,279,504		
その他人件費	115,570,749		
賞与引当金繰入	138,343,080		
外部委託費	195,804,431		
賃借料	219,182,521		
減価償却費	112,369,619		
保守・修繕費	112,303,669		
水道光熱費	60,585,277		
旅費交通費	16,650,587		
消耗品費	46,852,567		
備品費	4,915,927		
諸謝金	2,954,293		
印刷費	2,872,508		
通信費	60,706,564		
その他管理経費	84,859,253		
財務費用			
支払利息	2,042,182		
(経 常 費 用 合 計)	9,284,990,498		
経常利益	▲ 341,514,375		
臨時損失	1,610,441	臨時利益	1,610,441
過年度修正損(注1)	1,610,441	過年度修正益(注2)	1,610,441
当期純利益	▲ 341,514,375		
前中期目標期間繰越積立金取崩額(注4)	1,178,551		
当期総利益(注3)	▲ 340,335,824		
合 計	8,943,476,123	合 計	8,943,476,123

注記

1. 臨時損失に計上した過年度修正損1,610,441円は、令和元事業年度に計上した環境対策引当金見返の戻入であります。
2. 臨時利益に計上した過年度修正益1,610,441円は、令和元事業年度に繰入を行った環境対策引当金の戻入益であります。
3. ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は、▲900,178円であり、当該影響額を除いた当期総利益は、▲339,435,646円であります。
4. これらは、独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目です。

純 資 産 変 動 計 算 書
(令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日)

	I 資本金		II 資本剰余金				III 利益剰余金(又は繰越欠損金)				純資産 合計
	政府 出資金	資本剰余金	その他行政コスト累計額			前中期目標 期間繰越 積立金	積立金	当期末処分 利益(又は 当期処理 損失)	うち 当期繰利益 (又は 当期総損失)	利益剰余金 又は繰越欠損金 合計	
			減価償却相当 累計額 (-)	減損損失相当 累計額 (-)	除売却差額 相当累計額 (-)						
当期末残高	113,514,962,061	15,027,077,676	▲ 52,157,900,453	▲ 4,060,840	▲ 623,603,689	586,607	-	-	-	428,343,050	81,934,656,242
当期変動額											
I 資本剰余金の当期変動額											
固定資産の取得		581,439,205									581,439,205
固定資産の除売却			22,239,809		▲ 29,046,744						▲ 6,806,935
減価償却			▲ 2,104,531,894								▲ 2,104,531,894
出えん金の受入							803,762,783				803,762,783
II 利益剰余金(又は繰越欠損金)の当期変動額											
(1) 利益の処分又は繰越欠損金の繰越し											
前中期目標期間からの繰越し											
利益処分による積立											
利益処分(又は損失処理)による取り崩し											
国庫納付金の納付											
(2) その他											
前中期目標期間からの繰越し											
利益処分による積立											
利益処分(又は損失処理)による取り崩し											
国庫納付金の納付											
(2) その他											
前中期目標期間からの繰越し											
当期純利益(又は当期純損失)											
前中期目標期間繰越積立金取崩額											
当期変動額合計	-	581,439,205	▲ 2,082,292,085	-	▲ 29,046,744	▲ 1,178,551					▲ 341,514,375
当期末残高	113,514,962,061	15,608,516,881	▲ 54,240,192,538	▲ 4,060,840	▲ 652,650,333	523,672				▲ 340,335,824	80,440,364,199

キャッシュ・フロー計算書
(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

(単位:円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 5,091,404,310
人件費支出	▲ 4,293,809,661
運営費交付金収入	8,553,598,000
事業収入	615,632,329
受託収入	746,680
補助金等収入	500,000
寄附金収入	220,255,631
消費税等の支払額	7,384,800
その他の収入	183,965,298
小計	196,868,767
利息の受取額	28,966,437
利息の支払額	▲ 1,795,900
国庫納付金の支払額	▲ 426,640,827
業務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 202,601,523
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	▲ 1,598,629,000
長期性預金の償還による収入	800,000,000
有形固定資産・無形固定資産の取得による支出	▲ 629,505,432
施設費による収入	752,610,000
施設費の精算による返還金の支出	▲ 76,131,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 751,655,659
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
民間出えん金の受入による収入	803,762,783
リース債務の返済による支出	▲ 58,663,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	745,099,228
IV 資金増加額 (I + II + III)	▲ 209,157,954
V 資金期首残高	3,579,530,170
VI 資金期末残高 (IV + V)	3,370,372,216

注記

1. 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳
現金及び預金勘定 3,370,372,216円
2. 重要な非資金取引
ファイナンス・リースによる資産の取得 313,272,232円

損失の処理に関する書類

(単位:円)

I 当期末処理損失		<u>▲ 340,335,824</u>
当期総損失	▲ 340,335,824	
II 次期繰越欠損金		<u>▲ 340,335,824</u>

附属明細書

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87特定の償却資産の減価に係る会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期末残高	摘要
					当期増加額	期末残高	当期償却額	当期減損額		
有形固定資産 (減価償却費)										
建物	1,849,752,519	50,216,702	1,816,020	1,898,153,201	563,653,566	76,164,987	-	-	1,334,499,635	
構築物	326,467,941	32,422,720	-	358,890,661	128,955,076	17,971,612	-	-	229,935,585	
機械及び装置	458,829,563	7,291,956	3,350,382	462,771,137	284,149,067	40,181,745	-	-	178,622,070	
船舶	113,794,623	-	-	113,794,623	100,604,369	11,936,400	-	-	13,190,254	
車両運搬具	285,477,601	-	4,814,205	280,663,396	217,770,999	19,600,858	-	-	62,892,397	
工具器具備品	1,014,971,061	317,922,385	13,302,195	1,319,591,251	721,092,929	90,913,046	-	-	598,498,322	
計	4,049,293,308	407,853,763	23,282,802	4,433,864,269	2,016,226,006	256,768,648	-	-	2,417,638,263	
建物	71,540,513,263	413,272,597	27,427,325	71,926,358,535	38,086,971,566	1,928,962,200	-	-	33,839,386,969	
構築物	18,797,405,935	148,810,272	385,600	18,945,830,607	15,575,131,719	174,843,027	-	-	3,370,698,888	
機械及び装置	265,815,679	-	1,099,709	264,715,970	238,135,929	240,529	-	-	26,580,041	
船舶	16,351,515	-	-	16,351,515	14,716,352	-	-	-	1,635,163	
車両運搬具	56,343,603	-	-	56,343,603	50,709,218	4,613	-	-	5,634,385	
工具器具備品	305,670,120	19,356,336	134,110	324,892,346	274,527,754	481,525	-	-	50,364,592	
計	90,982,100,115	581,439,205	29,046,744	91,534,492,576	54,240,192,538	2,104,531,894	-	-	37,294,300,038	
非償却資産	9,905,000	-	-	9,905,000	-	-	-	-	9,905,000	
土地	36,914,200,000	-	-	36,914,200,000	-	-	-	-	36,914,200,000	
建設仮勘定	13,149,194	-	12,021,900	1,127,294	-	-	-	-	1,127,294	
計	36,937,254,194	-	12,021,900	36,925,232,294	-	-	-	-	36,925,232,294	
有形固定資産合計	73,390,265,782	463,489,299	29,243,345	73,824,511,736	38,650,625,132	2,005,127,187	-	-	35,173,886,604	
建物	19,123,873,876	181,232,992	385,600	19,304,721,268	15,704,086,795	192,814,639	-	-	3,600,634,473	
構築物	724,645,242	7,291,956	4,450,091	727,487,107	522,284,996	40,422,274	-	-	205,202,111	
機械及び装置	130,146,138	-	-	130,146,138	115,320,721	11,936,400	-	-	14,825,417	
船舶	341,821,204	-	4,814,205	337,006,999	268,480,217	19,605,471	-	-	68,526,782	
車両運搬具	1,330,546,181	337,278,721	13,436,305	1,654,388,597	995,620,683	91,394,571	-	-	658,767,914	
工具器具備品	36,914,200,000	-	-	36,914,200,000	-	-	-	-	36,914,200,000	
土地	13,149,194	-	12,021,900	1,127,294	-	-	-	-	1,127,294	
建設仮勘定	131,968,647,617	989,292,968	64,351,446	132,893,589,139	56,256,418,544	2,361,300,542	-	-	76,637,170,595	
計	404,245,725	65,295,120	137,651,331	331,889,514	250,784,682	10,859,211	-	-	81,104,832	
ソフトウェア	5,166,584	-	-	5,166,584	-	-	-	-	1,105,744	
電話加入権	2,268,000	-	-	2,268,000	642,600	151,200	-	-	1,625,400	
その他無形固定資産	411,680,309	65,295,120	137,651,331	339,324,098	251,427,282	11,010,411	-	-	83,835,976	
計	1,669,117,263	1,599,285,807	19,999,250	3,248,403,820	-	-	-	-	3,248,403,820	
投資有価証券	3,273,565,892	-	800,000,000	2,473,565,892	-	-	-	-	2,473,565,892	
長期性預金	1,556,633	-	21,690	1,534,943	-	-	-	-	1,534,943	
預託金	737,626,569	212,914,632	202,282,205	748,258,996	-	-	-	-	748,258,996	
退職給付引当金見返	5,681,866,357	1,812,200,439	1,022,303,145	6,471,763,651	-	-	-	-	6,471,763,651	
計										

2. 棚卸資産の明細

(単位:円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
切手・はがき	753,292	1,584,606	—	1,616,060	—	721,838	
道路通行券等	362,324	227,250	—	226,219	—	363,355	
計	1,115,616	1,811,856	—	1,842,279	—	1,085,193	

3. 有価証券の明細

(1) 流動資産として計上された有価証券

満期保有 目的債券	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表 計上額	当期費用に 含まれた評価差額	摘要
	地方債 京都府公募公債平成 24 年第 5 回	19,982,000	20,000,000	19,999,250	—	
	計	19,982,000	20,000,000	19,999,250	—	

(2) 投資その他の資産として計上された有価証券

(単位:円)

満期保有 目的債券	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表 計上額	当期費用に 含まれた評価差額	摘要
	地方債 大阪府公募公債第 380 回	11,994,000	12,000,000	11,998,950	—	
	地方債 大阪府公募公債第 389 回	12,993,500	13,000,000	12,998,375	—	
	国債 利付国債第 157 回	919,899,180	927,000,000	920,544,709	—	
	国債 利付国債第 157 回	404,051,200	406,000,000	404,218,839	—	
	地方債 京都府公募公債平成 28 年第 5 回	299,940,000	300,000,000	299,945,397	—	
	政府保証債 日本高速道路保有・債務返済機構 債券 414 回	99,454,000	100,000,000	99,481,300	—	
	政府保証債 民間都市開発債第 25 回	1,499,175,000	1,500,000,000	1,499,216,250	—	
	計	3,247,506,880	3,258,000,000	3,248,403,820	—	

4. 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	256,860,619	292,841,319	256,860,619	—	292,841,319	
環境対策引当金	50,120,000	—	45,577,884	1,610,441	2,931,675	(注)
計	306,980,619	292,841,319	302,438,503	1,610,441	295,772,994	

(注) 当期減少額における「その他」は、令和元事業年度に計上した環境対策引当金の戻入であります。

5. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

(単位:円)

区分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘要
	期首残高	当期増減額	期末残高	期首残高	当期増減額	期末残高	
業務未収金							
一般債権	8,437,419	2,425,138	10,862,557	—	—	—	
貸倒懸念債権	398,780	—	398,780	380,530	18,250	398,780	(注)
計	8,836,199	2,425,138	11,261,337	380,530	18,250	398,780	
未収金							
一般債権	58,153,538	▲1,279,484	56,874,054	—	—	—	
貸倒懸念債権	25,630,119	15,260,490	40,890,609	25,034,801	15,724,313	40,759,114	(注)
計	83,783,657	13,981,006	97,764,663	25,034,801	15,724,313	40,759,114	
立替金							
一般債権	1,270,793	▲1,049,132	221,661	—	—	—	
貸倒懸念債権	—	—	—	—	—	—	
計	1,270,793	▲1,049,132	221,661	—	—	—	

(注) 貸倒懸念債権については、債権額から担保の処分見込額及び保証による回収見込額を減額し、その残額について債務者の財政状態及び経営成績を考慮して貸倒見積高を算定しております。

6. 退職給付引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	737,626,569	212,914,632	202,282,205	748,258,996	
退職一時金に係る債務	737,626,569	212,914,632	202,282,205	748,258,996	
退職給付引当金	737,626,569	212,914,632	202,282,205	748,258,996	

7. 資本剰余金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	摘要
施設費	15,009,343,653	581,439,205	—	15,590,782,858	取得による増
運営費交付金	856,320	—	—	856,320	
寄附金等	16,877,703	—	—	16,877,703	
計	15,027,077,676	581,439,205	—	15,608,516,881	

8. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

交付年度	期首残高	当期交付額	当期振替額				引当金見返との相殺額	期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計		
3年度	—	8,553,598,000	7,182,344,990	128,345,073	—	7,310,690,063	504,720,708	738,187,229
計	—	8,553,598,000	7,182,344,990	128,345,073	—	7,310,690,063	504,720,708	738,187,229

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な使途の明細

① 運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

(単位:円)

区 分	運営費交付金 収益	運 営 費 交 付 金 の 主 な 使 途	
		費 用	主 な 使 途
業務達成基準による振替額	4,304,319,285	4,304,319,285	
自立する青少年の育成の 推進	1,027,915,293	1,027,915,293	人 件 費:554,374,388 外 部 委 託 費:269,954,793 そ の 他:203,586,112
青少年教育指導者等の 養成及び資質の向上	390,936,622	390,936,622	人 件 費:210,839,196 外 部 委 託 費:102,413,249 そ の 他:77,684,177
青少年教育指導者等研修 及び青少年研修に対する 指導及び助言	1,183,739,890	1,183,739,890	人 件 費:638,414,886 外 部 委 託 費:309,174,706 そ の 他:236,150,298
青少年教育に関する施設 及び団体相互間の連絡 及び協力の促進	24,605,305	24,605,305	人 件 費:13,269,600 外 部 委 託 費:6,426,528 そ の 他:4,909,177
青少年教育に関する 専門的な調査研究	106,619,988	106,619,988	人 件 費:57,501,599 外 部 委 託 費:27,847,506 そ の 他:21,270,883
青少年教育団体が行う 活動に対する助成	1,553,614,244	1,553,614,244	人 件 費:431,198,606 子どもゆめ基金助成費:827,230,471 外 部 委 託 費:140,043,387 そ の 他:155,141,780
法人共通	16,887,943	16,887,943	保 守・修 繕 費:13,735,700 外 部 委 託 費:2,773,201 そ の 他:379,042
期間進行基準による振替額	2,878,025,705	2,878,025,705	人 件 費:1,921,397,789 外 部 委 託 費:193,031,230 賃 借 料:219,182,521 保 守・修 繕 費:98,567,969 そ の 他:445,846,196
費用進行基準による振替額	-	-	○費用進行基準を採用した業務はない。
会計基準第 81 条第 4 項による 振替額	-	-	
合 計	7,182,344,990	7,182,344,990	

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な使途の明細

(単位:円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な使途	振替額	主な使途
自立する青少年の育成の推進	10,563,204	建物附属設備:6,518,190 機 械 装 置:2,516,364 そ の 他:1,528,650	-	
青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	4,017,389	建物附属設備:2,478,993 機 械 装 置:957,021 そ の 他:581,375	-	
青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	12,164,541	建物附属設備:7,506,321 機 械 装 置:2,897,833 そ の 他:1,760,387	-	
青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	252,843	建物附属設備:156,021 機 械 装 置:60,232 そ の 他:36,590	-	
青少年教育に関する専門的な調査研究	1,095,651	建物附属設備:676,089 機 械 装 置:261,006 そ の 他:158,556	-	
青少年教育団体が行う活動に対する助成	16,775,000	ソフトウェア:16,775,000	-	
法人共通	83,476,445	ソフトウェア:48,520,120 建物附属設備:31,618,324 そ の 他:3,338,001	-	
合 計	128,345,073		-	

(3)引当金見返との相殺額の明細

(単位:円)

セグメント	引当金見返との相殺	
	相殺額	主な相殺額の内訳
自立する青少年の育成の推進	46,116,503	賞与引当金見返: 46,116,503
青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	17,538,989	賞与引当金見返: 17,538,989
青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	53,107,569	賞与引当金見返: 53,107,569
青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	1,103,852	賞与引当金見返:1,103,852
青少年教育に関する専門的な調査研究	4,783,361	賞与引当金見返: 4,783,361
青少年教育団体が行う活動に対する助成	15,259,738	賞与引当金見返:15,259,738
法人共通	366,810,696	賞与引当金見返:118,950,607 退職給付引当金見返:202,282,205 環境対策引当金見返:45,577,884
合 計	504,720,708	

(4) 運営費交付金債務残高の明細

① 令和3年度交付分

(単位:円)

運営費交付金債務残高		使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	738,187,229	<p>○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と使用見込みは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年団体が行う活動に対する助成 令和3年度に予定していた計画の一部が未達で、計画に対する達成率が68.5%となったことから、31.5%相当額(714,351,018円)について、翌期に実施し、収益化する予定である。 ・退職一時金 退職予定者の一部に退職日延期者が発生したため、相当額(9,314,795円)を翌期に繰越し、退職一時金支給時に収益化する予定である。 ・PCB 処理・運搬費 令和3年度に予定していた計画を翌期に実施し、相当額(4,542,116円)を収益化する予定である。 ・衛生管理基準 令和3年度に予定していた計画を翌期に実施し、相当額(9,979,300円)を収益化する予定である。
期間進行基準を採用した業務に係る分	—	○翌事業年度への繰越額はない。
費用進行基準を採用した業務に係る分	—	○費用進行基準を採用した業務はない。
計	738,187,229	

9. 運営費交付金以外の国等からの財源措置明細

(1) 施設費の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘 要
		建設仮勘定 見返施設費	資本剰余金	その他	
施設整備費	731,293,708	-	581,439,205	149,854,503	
計	731,293,708	-	581,439,205	149,854,503	

(2) 補助金等の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本 剰余金	長期預り 補助金等	収益計上	
ASO 環境共生基金(阿蘇市)	370,000	-	-	-	-	370,000	
計	370,000	-	-	-	-	370,000	

10. 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区 分	報 酬 又 は 給 与		退 職 手 当	
	支 給 額	支給人員	支 給 額	支給人員
役 員	(2,160)	(3)	(-)	(-)
	59,168	4	2,672	2
職 員	(362,896)	(263)	(-)	(-)
	3,080,921	485	199,611	32
合 計	(365,056)	(266)	(-)	(-)
	3,140,089	489	202,282	34

(注) 1. 支給の基準は、役員給与規程、職員給与規程、非常勤職員給与規程等によっております。

2. 職員の支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。

3. ()内は非常勤役職員の数字であり外数であります。

11. 科学研究費補助金の明細

(単位:円、件)

種目	当期受入れ	件数	摘要
基盤研究(C)	(200,000) 60,000	1	日本学術振興会 科学研究費
合計	(200,000) 60,000	1	

(注) 当期受入額は間接経費相当額を記載し、直接経費相当額は外数として()内に記載しております。

12. セグメント情報

(単位:円)

	青少年教育事業			
	自立する青少年の育成の推進	青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進
I 行政コスト				
損益計算書上の費用合計	1,696,282,588	644,493,866	1,933,626,690	40,190,855
その他行政コスト				
減価償却相当額	791,303,992	300,948,061	911,262,310	18,940,787
減損損失相当額	-	-	-	-
利息費用相当額	-	-	-	-
承継資産に係る費用相当額	-	-	-	-
除売却差額相当額	2,559,408	973,392	2,947,403	61,262
その他行政コスト合計	793,863,400	301,921,453	914,209,713	19,002,049
行政コスト	2,490,145,988	946,415,319	2,847,836,403	59,192,904
II 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト	2,160,459,387	815,854,836	2,489,523,140	51,745,283
III 事業費用、事業収益及び事業損益				
事業費用				
人件費	606,205,345	230,551,501	698,103,495	14,510,234
業務費				
外部委託費	445,483,804	168,837,369	505,033,638	10,497,235
保守・修繕費	219,024,254	83,306,824	252,215,979	5,242,365
水道光熱費	220,200,605	83,746,507	253,582,079	5,270,759
子どもゆめ基金助成費	-	-	-	-
その他業務経費	205,368,580	78,051,665	224,691,499	4,670,262
一般管理費	-	-	-	-
財務費用	-	-	-	-
事業費用 計	1,696,282,588	644,493,866	1,933,626,690	40,190,855
事業収益				
運営費交付金収益	1,027,915,293	390,936,622	1,183,739,890	24,605,305
事業収入	215,925,896	89,727,866	247,047,109	5,134,929
受取利息	-	-	-	-
基金運用益	-	-	-	-
寄附金収益	31,620,781	7,781,380	23,561,799	489,737
受託収入	3,598,376	4,086,519	-	-
補助金等収益	370,000	-	-	-
施設費収益	56,345,293	21,429,194	64,887,000	1,348,690
引当金見返に係る収益	51,830,957	19,712,305	59,688,309	1,240,634
資産見返負債戻入	58,226,633	22,144,704	67,053,543	1,393,723
雑益	65,393,051	23,964,093	72,562,602	1,508,230
事業収益 計	1,511,226,280	579,782,683	1,718,540,252	35,721,248
事業損益	▲ 185,056,308	▲ 64,711,183	▲ 215,086,438	▲ 4,469,607
IV 臨時損益等				
臨時損失	-	-	-	-
臨時利益	-	-	-	-
当期純損益	▲ 185,056,308	▲ 64,711,183	▲ 215,086,438	▲ 4,469,607
前中期目標期間繰越積立金取崩額	94,736	36,030	109,097	2,268
当期総損益	▲ 184,961,572	▲ 64,675,153	▲ 214,977,341	▲ 4,467,339
V 総資産				
有形固定資産	28,543,366,225	10,855,588,749	32,870,419,082	683,218,873
建物	13,167,263,852	5,007,762,582	15,163,365,020	315,173,869
構築物	1,347,955,972	512,653,468	1,552,300,362	32,264,904
土地	13,879,739,200	5,278,730,600	15,983,848,600	332,227,800
投資その他の資産	452,645	172,149	521,264	10,835
その他	60,807,391	23,126,216	70,025,533	1,455,496
総資産 計	28,604,626,261	10,878,887,114	32,940,965,879	684,685,204

(単位:円)

			青少年団体が行う活動 に対する助成 (基金事業)	法人共通	合 計
	青少年教育に関する専 門的な調査研究				
I 行政コスト					
損益計算書上の費用合計	174,160,371	1,613,100,229	3,184,746,340		9,286,600,939
その他行政コスト					
減価償却相当額	82,076,744	-	-		2,104,531,894
減損損失相当額	-	-	-		-
利息費用相当額	-	-	-		-
承継資産に係る費用相当額	-	-	-		-
除売却差額相当額	265,470	-	-		6,806,935
その他行政コスト合計	82,342,214	-	-		2,111,338,829
行政コスト	256,502,585	1,613,100,229	3,184,746,340		11,397,939,768
II 独立行政法人の業務運営に関して 国民の負担に帰せられるコスト	224,229,566	1,569,524,636	3,479,204,957		10,790,541,805
III 事業費用、事業収益及び事業損益					
事業費用					
人件費	62,877,682	448,390,213	2,272,655,501		4,333,293,971
業務費					
外部委託費	45,488,018	145,405,477	-		1,320,745,541
保守・修繕費	22,716,913	3,825,097	-		586,331,432
水道光熱費	22,839,956	3,314,011	-		588,953,917
子どもゆめ基金助成費	-	827,230,471	-		827,230,471
その他業務経費	20,237,802	173,315,960	-		706,335,768
一般管理費	-	11,619,000	908,438,216		920,057,216
財務費用	-	-	2,042,182		2,042,182
事業費用 計	174,160,371	1,613,100,229	3,183,135,899		9,284,990,498
事業収益					
運営費交付金収益	106,619,988	1,553,614,244	2,894,913,648		7,182,344,990
事業収入	22,251,356	16,972,795	22,027,055		619,087,006
受取利息	-	-	98		98
基金運用益	-	26,602,798	-		26,602,798
寄附金収益	2,122,194	-	-		65,575,891
受託収入	-	-	-		7,684,895
補助金等収益	-	-	-		370,000
施設費収益	5,844,326	-	-		149,854,503
引当金見返に係る収益	5,376,083	16,649,951	351,257,712		505,755,951
資産見返負債戻入	6,039,465	3,355,475	52,393,104		210,606,647
雑益	6,535,662	-	5,629,706		175,593,344
事業収益 計	154,789,074	1,617,195,263	3,326,221,323		8,943,476,123
事業損益	▲ 19,371,297	4,095,034	143,085,424		▲ 341,514,375
IV 臨時損益等					
臨時損失	-	-	1,610,441		1,610,441
臨時利益	-	-	1,610,441		1,610,441
当期純損益	▲ 19,371,297	4,095,034	143,085,424		▲ 341,514,375
前中期目標期間繰越積立金取崩額	9,826	267,534	659,060		1,178,551
当期総損益	▲ 19,361,471	4,362,568	143,744,484		▲ 340,335,824
V 総資産					
有形固定資産	2,960,615,113	13,164,380	710,798,173		76,637,170,595
建物	1,365,753,431	250,005	154,317,845		35,173,886,604
構築物	139,814,582	-	15,645,185		3,600,634,473
土地	1,439,653,800	-	-		36,914,200,000
投資その他の資産	46,950	5,721,969,712	748,590,096		6,471,763,651
その他	6,307,150	913,143,621	2,772,768,755		3,847,634,162
総資産 計	2,966,969,213	6,648,277,713	4,232,157,024		86,956,568,408

(注)1. 区分の方法

区分は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構法」(平成11年12月22日法律第167号)第十一条(業務の範囲)及び「独立行政法人国立青少年教育振興機構に関する省令」(平成13年3月30日文科科学省令第30号)第十五条(経理方法)に基づき区分し、その他共通的な事項を法人共通として区分しております。

2. 各事業の内訳

事業区分		事業内容
青少年教育事業	自立する青少年の育成の推進	青少年の体験活動等の重要性に関する普及・啓発や青少年教育に関する地域力向上のためのモデル的事業の開発及びグローバル人材の育成を見据えた国際交流の推進
	青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	青少年教育指導者等の養成及び資質の向上等を目的として当機構が実施する青少年教育指導者等研修及びボランティアの養成・研修の推進
	青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	青少年教育団体が実施する青少年指導者等研修及び青少年研修に対し、学習の場や機会、情報を提供するとともに、指導・助言等の支援を行う事業
	青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	青少年教育団体相互間の連絡・協力を促進する事業
	青少年教育に関する専門的な調査研究	青少年の体験活動の重要性等、青少年教育に関する調査研究
青少年教育団体が行う活動に対する助成(基金事業)		青少年教育団体が実施する活動に対して行う助成金の交付並びに附帯事業(「独立行政法人国立青少年教育振興機構に関する省令」(平成13年3月30日文科科学省令第30号)第十五条に基づき区分経理)

3. 「一般管理費」の「法人共通」(908,438,216円)は各セグメントに配賦しなかった費用であり、その主な内容は外部委託費、賃借料、減価償却費、保守・修繕費であり、それぞれ195,804,431円、219,182,521円、112,369,619円、112,303,669円であります。

4. 総資産「その他」の「法人共通」合計(2,754,752,932円)は各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主な内容は現金及び預金2,557,825,868円であります。

5. 目的積立金の取り崩しを財源とする費用

事業区分	金額(円)
自立する青少年の育成の推進	94,736
青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	36,030
青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	109,097
青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	2,268
青少年教育に関する専門的な調査研究	9,826
青少年教育団体が行う活動に対する助成(基金事業)	267,534
法人共通	659,060
合計	1,178,551

13. 関連公益法人等の状況

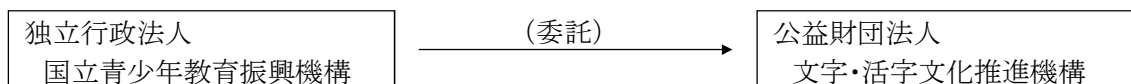
(1) 関連公益法人等の概要

法人の名称	当機構との関係	業務の概要
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	関連公益法人	「子どもの読書活動の推進に関する法律」と「文字・活字文化振興法」の具現を通じて、読書・新聞閲読のための環境整備や文字・活字文化の振興、言語力(読む・書く・考える・伝える)の向上を図り、地域・学校・企業における講座・研修活動、ワークショップ等を推進するとともに、それに必要な人材育成を進め、もって国民の人間性の涵養とわが国文化の発展、並びに創造的な国づくりに資することを目的とする。

(2) 役員の名(令和4年3月31日現在)

法人の名称	役員の名
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	理事長 山口 寿一 副理事長 丸山 昌宏、相賀 昌宏 専務理事 松木 修一 理事 足立 直樹、石井 直、一力 雅彦、伊藤 雅俊、小川 恒弘、 北島 義俊、中村 史郎、長谷部 剛、平林 彰、藤森 康彰、 堀 憲郎、堀内 丸恵、矢幡 秀治、山本 信夫 監事 北村 哲男、能勢 正幸

(3) 当機構との取引の関連図



(4) 関連公益法人等の財務状況

① 貸借対照表(令和4年3月31日現在) (単位:円)

法人の名称	科目	金額
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	資産	154,518,876
	負債	8,817,858
	正味財産	145,701,018

② 正味財産増減計算書(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

別紙に記載

③ 収支計算書(令和3年4月1日～令和4年3月31日) (単位:円)

法人の名称	科目	金額
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	当期収入合計額	83,772,158
	当期支出合計額	98,555,637
	当期収支差額	▲14,783,479

(5) 関連公益法人等の基本財産等の状況

① 関連公益法人等の基本財産に対する出えん、抛出、寄附等の明細

該当無し

② 関連公益法人等の運営費、事業費等に充てるために当該事業年度において負担した会費、負担金等の明細

該当無し

(6) 関連公益法人等との取引の状況

① 債権債務の明細

(単位:円)

法人の名称	項目	金額
公益財団法人	未払金	14,771,336
文字・活字文化推進機構	未収金	該当無し

② 債務保証の明細

該当無し

③ 関連公益法人等の事業収入の金額とこれらのうち当機構の発注等に係る金額及びその割合

(単位:円)

法人の名称	事業収入	左記のうち 当機構の発注高		当機構の発注高の内訳					
				競争入札		企画競争等		競争性のない 随意契約	
		金額	割合 (%)	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	45,267,066	30,891,336	68.2%	30,891,336	100%	—	—	—	—

(注) 1. 事業収入は、正味財産増減計算書のうち、事業収益及び受取補助金等の合計額となっております。

(注) 2. 当機構の発注高は、当機構の令和3年度財務諸表に計上されている発注高(費用)を計上しております。

別紙
正味財産増減計算書(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:円)

法人の名称	一般正味財産増減の部						指定正味財産増減の部									
	収益		費用		当期増減額	一般正味財産 期末残高	収益		費用等	当期増減額	指定正味財産 期末残高	指定正味財産 期末残高				
	A	収益の内訳		B			費用の内訳						F	収益の内訳		
		受取 補助金等	その他の 収益		事業費	管理費	その他の 費用	受取 補助金等	その他の 収益							
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	79,182,158	39,431,206	39,750,952	93,965,637	41,594,041	36,686,596	15,685,000	▲ 14,783,479	60,484,497	E=C+D	45,701,018	100,000,000	J=H+I	100,000,000	K=E+J	145,701,018
										G	H=F-G	I	100,000,000			

重要な会計方針等

1. 重要な会計方針

(1) 運営費交付金収益の計上基準

業務達成基準を採用しております。

なお、業務の進行状況と運営費交付金の対応関係が明確である活動を除く管理部門の活動については、期間進行基準を採用しております。

(2) 基金運用益の計上基準

基金運用益は、中期計画及びこれを具体化する年度計画等において、業務のための支出額を限度として収益化しております。基金運用利益金負債勘定は、子どもゆめ基金の資金運用先である有価証券に係る有価証券利息のうち、収益化未済の金額が記載されております。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	2年～64年
構築物	2年～60年
機械及び装置	2年～18年
船舶	2年～13年
車両運搬具	2年～7年
工具器具備品	2年～16年

なお、耐用年数については、主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87第1項）に係る減価償却に相当する額については、減価償却相当累計額として資本剰余金を減額しております。

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(4) 賞与引当金の計上基準

役職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち、当事業年度に負担すべき金額を計上しております。なお、役職員の賞与については、運営費交付金により財源措置がなされる見込みであるため、賞与引当金と同額を賞与引当金見返として計上しております。

(5)退職給付に係る引当金の計上基準並びに退職給付費用の処理方法

退職一時金については、期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。このうち、運営費交付金により財源措置がなされる見込みである退職一時金については、退職給付引当金と同額を退職給付引当金見返として計上しております。

(6)環境対策引当金の計上基準

PCB（ポリ塩化ビフェニル）の処分等に関する支出に備えるため、今後発生すると見込まれる金額を計上しております。なお、運営費交付金により財源措置がなされる見込みであるため、環境対策引当金と同額を環境対策引当金見返として計上しております。

(7)貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に債権の回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(8)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券

償却原価法（定額法）

(9)棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法による低価法を採用しております。

(10)キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金は、手元現金及び要求払預金からなっております。

(11)消費税等の会計処理方法

税込方式によっております。

2. 注記

(1) 金融商品の時価等の開示に関する注記

①金融商品の状況に関する事項

当法人の資金運用については、「独立行政法人通則法」第47条に規定された金融商品に限定し、主として「独立行政法人国立青少年教育振興機構法」第13条に定められた基金の運用を行っております。現在保有している有価証券は国債及び地方債のみであり、株式等は保有しておりません。

②金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(ア) 現金及び預金	3,370	3,370	—
(イ) 有価証券及び投資有価証券	3,268	3,173	▲95
満期保有目的の債券	3,268	3,173	▲95
(ウ) 長期性預金	2,474	2,416	▲58
(エ) 未払金	(1,496)	(1,496)	—

(注1) 負債に計上されているものは、()で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

(ア) 現金及び預金

現金及び預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(イ) 有価証券及び投資有価証券

取引金融機関から提示された価格によっております。

(ウ) 長期性預金(コーラブル預金)

取引金融機関から提示された価格によっております。

(エ) 未払金

未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 賃貸等不動産の時価等の開示に関する注記

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

(3) 退職給付に係る注記

① 当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度及び国家公務員共済組合法の退職等年金給付制度を採用しております。

非積立型の退職一時金制度では、給与と勤務時間に基づいた一時金を支給しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

② 確定給付制度

(ア) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	737,626,569 円
退職給付費用	212,914,632 円
退職給付の支払額	▲202,282,205 円
期末における退職給付引当金	748,258,996 円

(イ) 退職給付に係る損益

簡便法で計算した退職給付費用 212,914,632 円

③ 退職等年金給付制度

当法人の退職等年金給付制度への要拠出額は、23,379,726 円であります。

(4) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(5) 貸借対照表に計上していない資産除去債務の概要

当法人では、土地賃貸借契約を締結しており、契約終了時に原状回復義務を有しておりますが、現時点では、履行時期の予測及び除去費用の負担額の合理的な見積りが困難であるため、資産除去債務を計上しておりません。

(6) 追加情報

(新型コロナウイルスの感染症拡大の影響について)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、全国各地への「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」の発令、その他各教育施設の所在する都道府県等からの要請等により、13 教育施設で延べ860 日間の休館を行っております。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による利用団体等からのキャンセルについては、要因が判明しているだけで11,515 団体1,522,383 人の利用が減少しております。

一方で、令和2年度と比較すると、令和3年度の社会経済活動は緩やかに回復の兆しを見せており、当機構の教育事業利用者数と研修支援利用者数合わせて前年度比450,497 人増（前年度比48.9%増）と回復傾向にあります。

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後もある程度続いていくものと想定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の収束及び社会経済活動の再開に伴い、主たる利用団体である学校等を含む青少年利用や企業研修等を含む一般利用が回復することを見込んでおります。